2021年10月

波動測定で比較

あの、神経波磁力線を超えた！

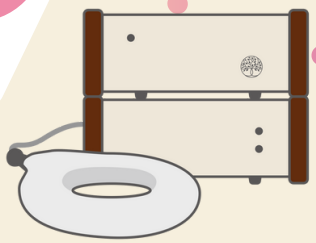
磁力は
そのまま

今まで販売された神経波磁力線の性能を
大きく超えた奇跡の進化版

manaWave が バージョンアップ

測定機器
レヨコンフ・PS10

水道水、
その水道水に
神経波磁力線発生器、
manaWaveをそれぞれ
60分あてたお水を
波動測定で検査比較！

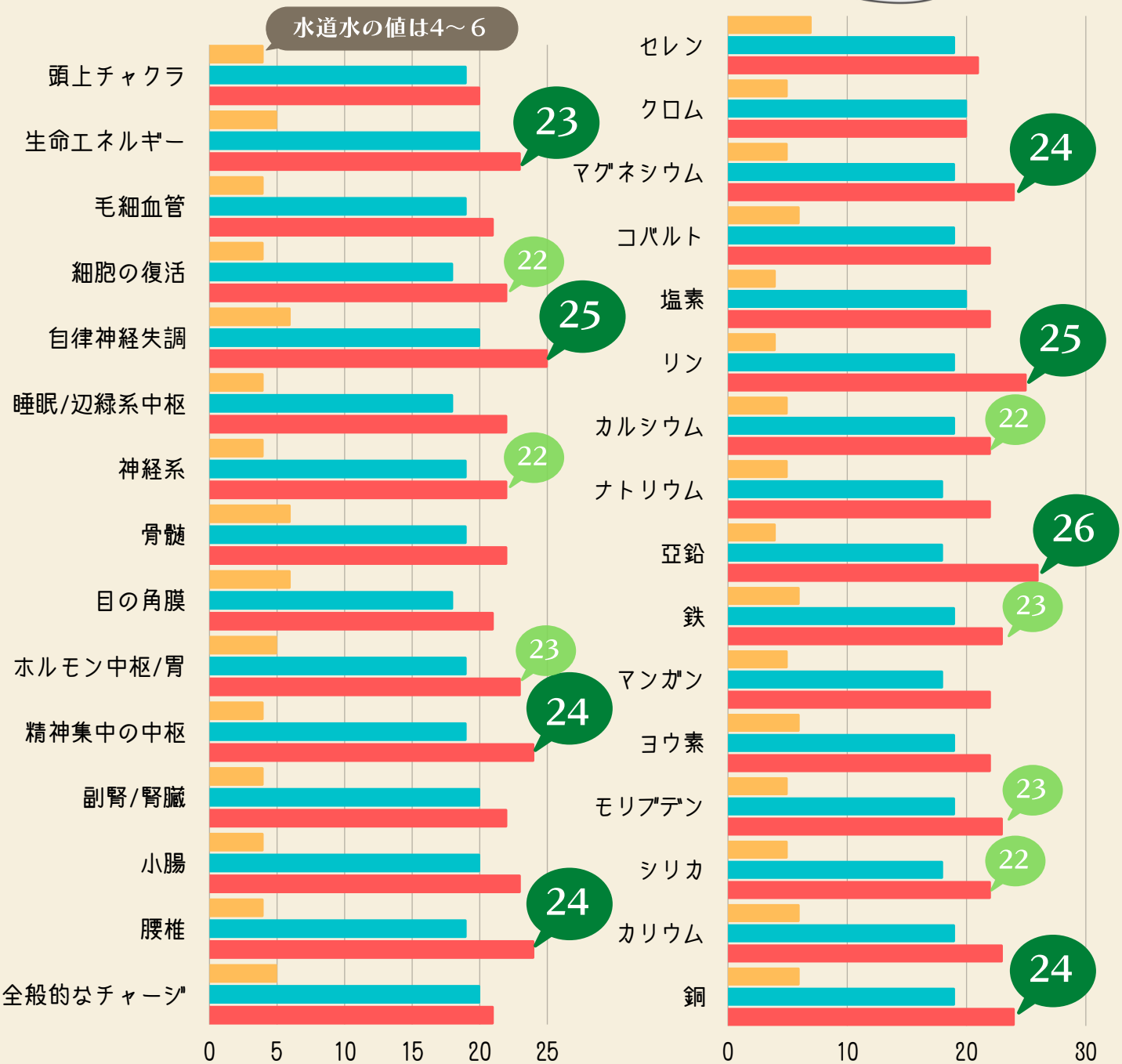


総合評価

水道水	33.1Vel
神経波磁力線発生器	120.2Vel
manaWave	143.1Vel

★測定会社の指標：総合評価100Vel以上の水は人間に理想的な状態の水とされています。

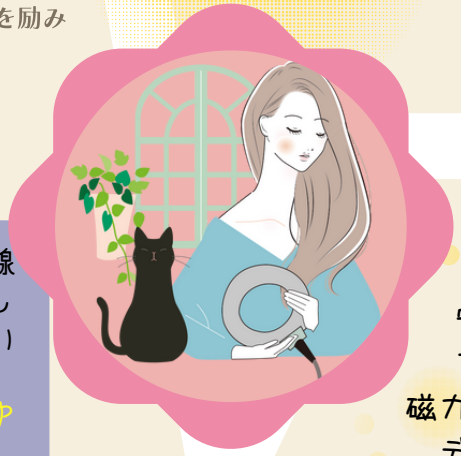
波動測定は様々なご意見があると思いますが、同じ基準で測定し、
比較した結果であることを、参考にして下さい。



波動測定で比較

従来の神経波磁力線を超えた理由

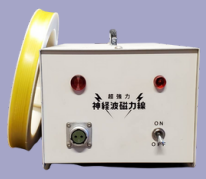
2012年の復活から常に改良と進化を目指し、頂くお声を励みに、弊社の専門技術者と試行錯誤しておりました。
そして2021年10月、ついに、嬉しいご報告を…！



安心して
下さいっ
磁力はそのまま
デスヨ！！

POINT 1

遠い昔のことぢゃった…

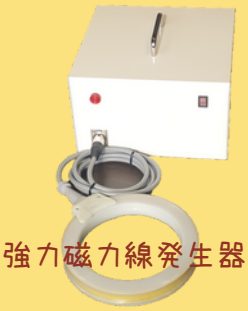


約30年前、一番最初に作られた神経波磁力線発生器は『１～10HZ』の『変動』タイプでした。アナログ制御では『変動』しかできない為です。
その後、政木先生はやはり、大切なのは『ゆらぎ』とのコトで、デジタル制御で『ゆらぎ』を付加する代わりに、ヘルツの幅が『３～５HZ』と狭くならざるを得ない（※当時のICの限界）妥協されたタイプの磁力線が作られ販売されました。

そこから進化！

2012年に復活！！

京都部品株式会社（2021年4月より社名・業態変更）



強力磁力線発生器

株式会社セルパワー（関連会社）

フルモデルチェンジ！！

セルパワー

POINT 2

株式会社mana

『１～１０HZ』の
『ゆらぎ』に成功っ

ばんざいっ！！

manaWave

★補捉：他社が出している神経波磁力線発生器、Mリング等、現在まで出ている機器は、『３～５HZのゆらぎ』タイプです。※一部、変動のみでゆらぎのない他社製品もあります。

POINT 3

30年の時を超え、当初のヒラメキが実現
発明者が一番理想とした性能へ、バージョンアップ成功！

POINT１でご説明した通り、発明当初はアナログタイマーでの制御だったので『ゆらぎ』ではなく『変動』で作られてました。そこから、やはり『ゆらぎ』の重要性を尊重し付加しようとしましたが、制御用チップICの限界があり、ヘルツの幅を３～５HZに狭めた機器が、一番多く出回った神経波磁力線発生器です。

話は2012年に戻りますが、弊社の会長であり発明家でもある佐々木耕司が磁力線をなんとか復活させた後も、越えなければならない問題が沢山ございました。大きく２つ挙げれば“法の問題”と“電気の質が悪いところでは100%のパフォーマンスが発揮できない問題”の発覚です。
それらをクリアさせたのは佐々木の発明家としてのヒラメキと京都大学時代に専攻した専門知識が役に立ちました。

この時を境に、当初の開発に関わられていた技術者の方の知識を超えて、全て佐々木によるアイデアから改善に至ります。現在、健康機器として取り扱う事ができる法律のクリア、100%のパフォーマンスを発揮できる為の部品変更が可能になった事は、弊社の技術者と共に現状維持にとどまらず、発明家としての志をそそいだ結果です。

ひとつひとつ慎重に進めつつも、今一度、当初の理想形である１～１０HZに戻し、かつ、『ゆらぎ』を加える技術を探求したところ、オリジナルの神経波磁力線発生器を超え、優れた湯治の温泉水と並ぶ高い波動測定結果を誇る性能を、実現させるに至りました！波動測定して下さった先生もしかり、エネルギーに精通した施術家・セラピストの方々にも大絶賛頂き、世界初、唯一無二の実現に至ったこのウレシイニュースを、マナんちゅの皆さま、manaWaveご愛用の皆さま、応援して下さった皆さま全員に、感謝と共にご報告させて頂きます。